

## 消化器外科

### 1. 後期研修の特徴

- 1) 日本外科学会認定教育施設である。
- 2) 4名の日本外科学会専門医（内3名は指導医）の指導が得られる。
- 3) 豊富な手術症例（平成22年では1014例の手術件数で、全麻849例、消化器外科手術880件、胃手術41例、結腸・直腸手術111例、腹腔鏡胆摘226例、乳癌手術38例、ヘルニア手術129例、虫垂切除80例など）を経験できる。
- 4) 多数の腹腔鏡手術を施行している。
- 5) 緊急手術も多く、また多数の日帰り手術（腹腔鏡胆摘、ヘルニア手術、痔核手術）を経験できる。
- 6) 病院の施設、器具は最新のものを数多くそろえてあり、最短の年限で外科専門医、消化器外科専門医の受験資格を得ることができる。

### 2. プログラム

#### ■ GIO

外科専門医、消化器外科専門医としての知識を修得し、必要な検査・処置・手術を適切に実施できる能力を習得する。

#### ■ SBOs

- 1) 外科学会、消化器学会専門医取得に必要な症例数以上に十分な症例を経験し、手術に習熟する。
- 2) EBMに基づいた診療を行う。
- 3) 指導医のもとで担当医として外科診療における適切なインフォームド・コンセントを得るようになる
- 4) 適切な術前・術後管理を習得する。
- 5) 後進の医師に対して外科診療の指導を行う。
- 6) 施設内外のカンファレンスに参加し、積極的に討論に参加する。

#### ■ Ls

- 1) On the job training(OJT)が主体である。
- 2) 多数の手術症例を経験する。
- 3) 初期研修医の指導を行う。
- 4) 各種カンファレンスに参加する。
- 5) 学会発表、論文執筆を行う。

■ Ev

- 1) カンファレンスでの発表等で評価を受ける。

3. 大学医局との関連

京都大学の関連施設です。

4. 将来の進路

- 1) 選考により、武田病院グループの病院でスタッフとして勤務ができる。
- 2) 有限責任中間法人京都大学外科交流センターの会員となり、大学院進学、学位の取得、京大関連病院の勤務等も可能である。希望により他の大学、病院にも紹介する。